

●リベルサス（一般名：セマグルチド）投与時の注意点

糖尿病治療薬としてビクトーザやトルリシティ、オゼンピックやマンジャロなどの注射剤がありますが、これらの注射剤と同様の作用を有する経口製剤としてリベルサスがあります。3mg錠、7mg錠、14mg錠の規格があり、これらのうち当院では3mg錠、7mg錠が採用されています。

セマグルチドは主に胃内で吸収されますが、消化管での透過性が低く、また胃内の分解酵素により分解されてしまうことから、経口投与には適していませんでした。セマグルチドに吸収促進剤であるサルカプロザートナトリウム（SNAC）を添加することで経口投与を可能にしたのがリベルサスです。

経口投与が可能となったとはいえ体内で吸収される量の指標である絶対的バイオアベイラビリティは1%であり、服用方法に注意が必要です。今回はリベルサス投与時の注意点についてまとめます。

【用法・用量】

開始用量：1日1回 3mg

維持用量：1日1回 7mg

最大用量：1日1回 14mg（維持用量で4週間以上投与しても効果不十分な場合）

【投与時の注意事項】

☆1日のうちの**最初の食事又は飲水の前に、空腹の状態**でコップ約半分の水（約120mL以下）で1錠服用

➡飲水量が本剤の吸収に影響を及ぼすため。

☆服用時、服用後少なくとも**30分は飲食、他の薬剤の服用を避ける**

➡飲食により本剤の吸収に影響を及ぼすため。

☆分割、粉砕、かみ砕いて服用しない

➡吸収への影響が不明であるため。

☆14mg投与時は**7mg錠 2錠にて投与しない**

➡本剤の吸収が錠剤表面の周辺部に限定されるため、SNACの投与量の差異や物理的に2つの錠剤が胃内に存在することにより本剤の吸収に影響を及ぼす可能性があるため。

☆投与を忘れた場合はその日は投与せず、翌日投与する

➡本剤は1日1回投与製剤であり、またセマグルチドの消失半減期が長いことから1回の投与忘れによる影響は小さいと考えられるため。



リベルサスを服用時は以上の点に注意してください。